

「長野市農業振興アクションプラン」 の実施状況について

長野市農林部・農業委員会事務局

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

長野市農業振興アクションプラン

長野市農業振興条例第10条に基づく、農業及び農村の振興に関する計画

【計画期間】 令和4年度～令和8年度の5年間

【将来像】 三実一体で実現する力強い長野市農業

【体系】

重点施策	大項目	中項目	小項目
施策1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進	① 農業の多様な担い手の確保と育成	ア 中心的な担い手となる農業者の育成 イ 新たな担い手の確保 ウ 農業者を支える団体の活動支援	40の具体的な取組
	② 農地の有効利用と農業生産基盤の整備	ア 優良農地の確保と農地の有効利用 イ 農業生産基盤の整備と維持管理	
施策2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進	③ 地域の特性を活かした生産振興	ア 主要農畜産物の生産振興 イ 中山間地域の生産振興 ウ 安全・安心な農産物づくり エ 災害対策・野生鳥獣対策	
	④ 農産物の販売力強化と他産業との連携	ア 販路の拡大 イ 付加価値の向上	
	⑤ 農業・農村に対する理解の促進	ア 地産地消・食文化の伝承 イ 都市と農村の交流	

➤ 将来像の実現に向け、2つの重点施策のもとに、40の小項目を実施

➤ 4つの指標を設定し、進捗度合いを管理

【報告及び公表】長野市農業振興条例第11条に基づき、毎年市議会に報告し公表

	指標名	内容	現状値 (令和2年度)	令和7年度	目標値 (令和8年度)
1	地域の中心経営体 (経営体)	各年度末時点で人・農地 プランに掲載されている 経営体の数※	629	1,166	671
2	農地の利用権設定 面積 (ha)	農業委員会事務局農地情 報公開システム登録面積	752.7	1022.9	992.7
3	果樹の新品種・新 技術導入による栽 培面積 (ha)	りんご新わい化、ぶどう 新品種の栽培面積推計値	120.5	174.4	180.5
4	計画期間の市農業 生産額の累積 (億円)	市全体の農業生産額の令 和4年産から8年産まで (5年間)の累積	192.6	838.5	1,020

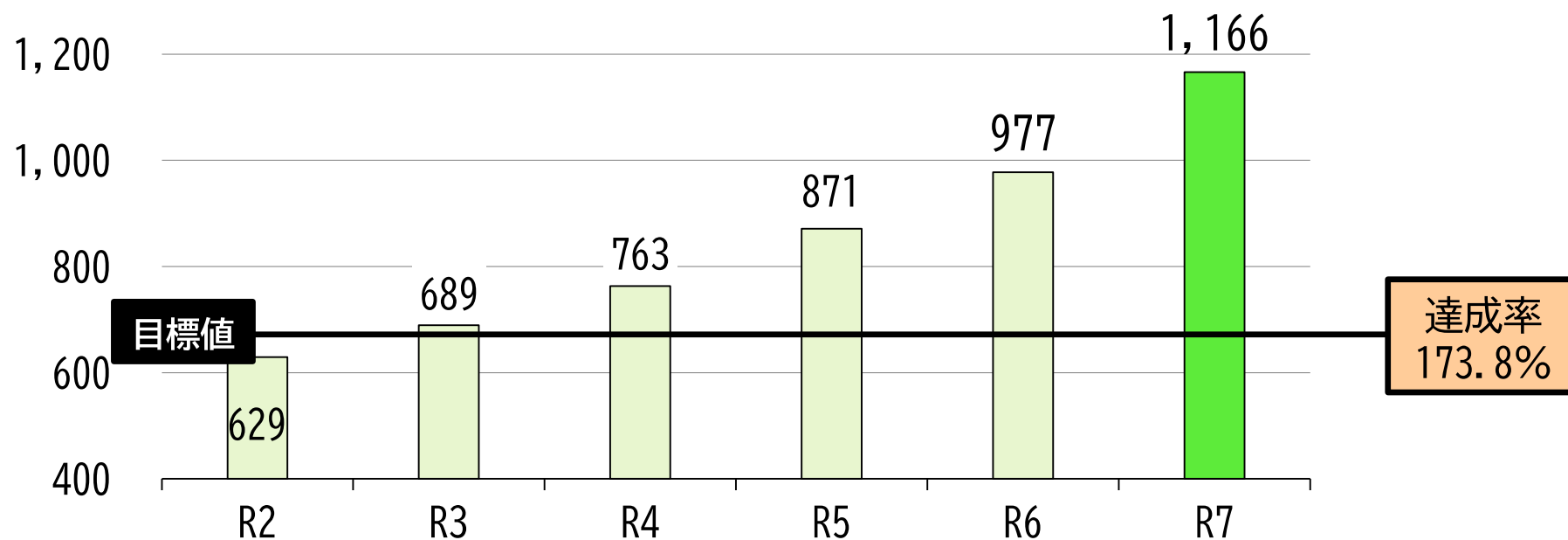
※令和7年度の実績値は、地域計画に掲載されている地域内の農業を担う者の数

1 地域の中心経営体(経営体)

各年度末時点で人・農地プランに掲載されている経営体の数※

※R 6、R 7の実績値は、地域計画に掲載されている地域内の農業を担う者の数

	現状値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
実績値	629	689	763	871	977	1,166	671

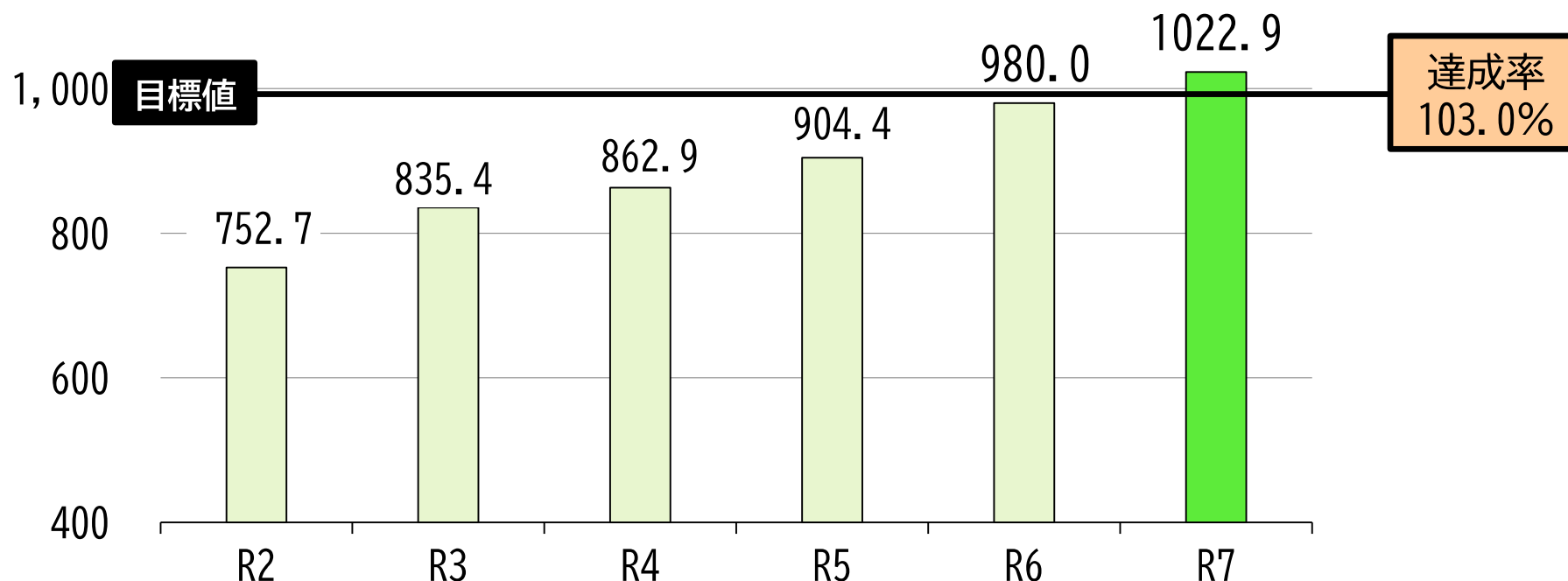


地域の中心経営体は、令和2年度より537経営体増で目標達成
【要因】農地中間管理事業の利用者増

2 農地の利用権設定面積(ha)

各年度末時点における農業委員会農地台帳（農業委員会サポートシステム）登録面積

	現状値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
実績値	752.7	835.4	862.9	904.4	980.0	1022.9	992.7

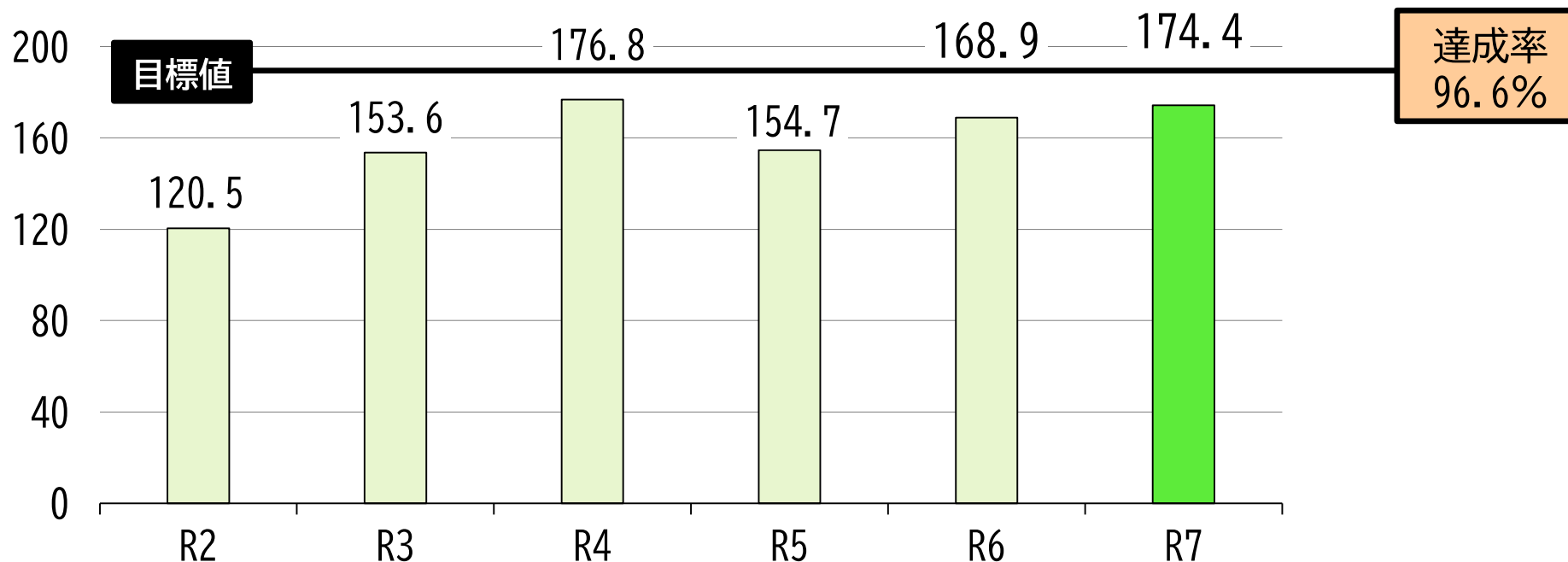


農地の利用権設定面積は、令和2年度より270.2ha増で目標達成
【要因】 農業者の高齢化や後継者不足に伴い、担い手への権利移転が進んだもの

3 果樹の新品種・新技術導入による栽培面積(ha)

りんご新わい化、ぶどう新品種の栽培面積推計値

	現状値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
実績値	120.5	153.6	176.8	154.7	168.9	174.4	180.5



果樹の新品種・新技術導入による栽培面積は、令和2年度より53.9ha増加している。

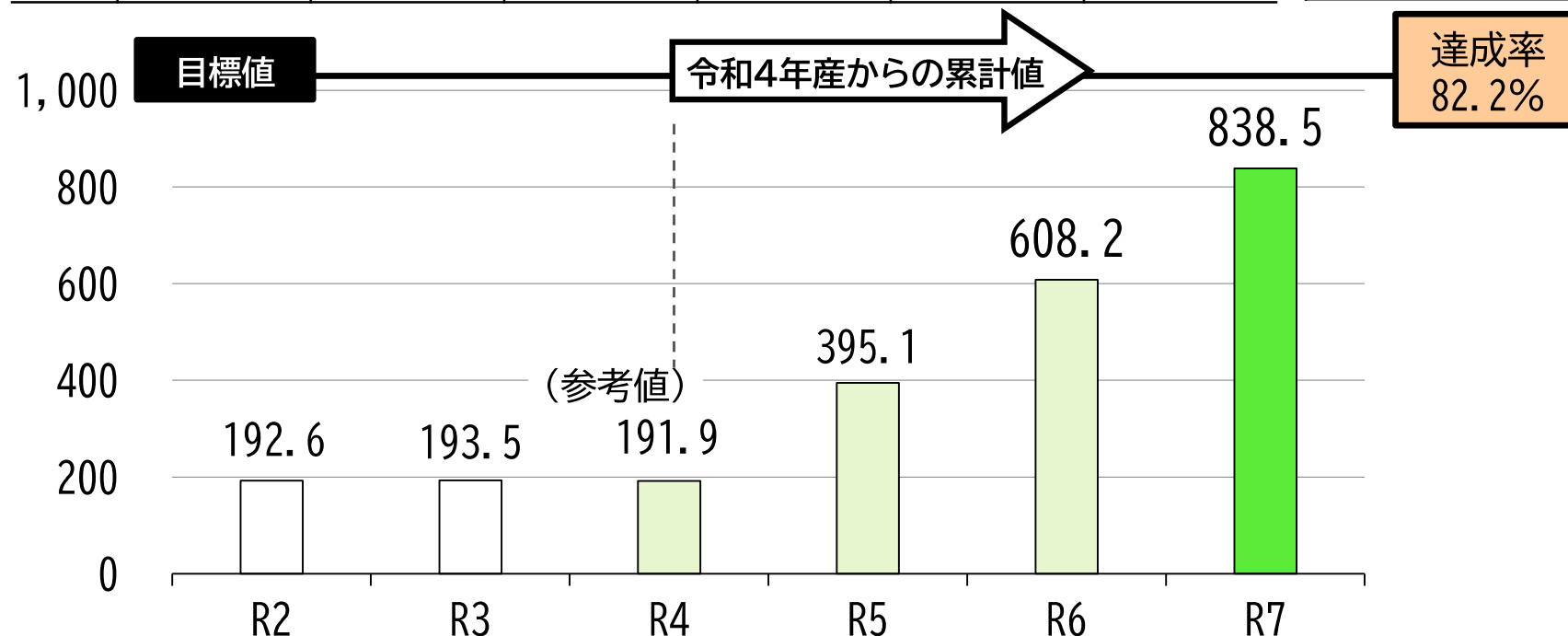
また、令和6年度より5.5ha増加

【要因】ぶどう新品種の増加（その一方で、りんごは減少）

4 計画期間の市農業生産額の累積(億円)

市全体の農業生産額の令和4年産から8年産まで(5年間)の累積

	現状値 (R2)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値(R8)
実績 値	192.6	193.5	191.9	395.1	608.2	838.5	1,020



計画期間の市農業生産額の累積は、令和7年度に838.5億円増と順調に推移
【要因】農産物価格の上昇 など

- 農作業の省力化、生産性の向上、農地の遊休荒廃化の防止を図るため、農業機械化補助金を交付
- スマート農業機械補助 10,085千円
 - ・スマート農業用機械等導入 8台
 - ・技術認定取得 2件
- 機械化補助金 46,843千円
 - ・個人127台(認定農業者81台、中山間地域小型農業機械 46台)
 - ・共同 4台(各種農業機械1台、中山間地域小型農業機械 3台)



ラジコン草刈機



農業用ドローン
(ヤンマーカタログより)



ロボット草刈機
(ハスクバーナHPより)

- 地域農業の担い手となる新規就農者を確保するため、就農を希望する方に対し、地域農業者の指導による農業体験受入事業を実施（令和3年度事業開始）
⇒ 令和7年度は9件の実績
- 半農半X志向や田舎暮らし志向を持つ担い手を呼び込むため、市外在住者を対象に、本市農業や食文化、地域の魅力を知ってもらうパッケージ型ツアーを開催（令和7年度事業開始）
⇒ 令和7年度は「桃の収穫体験ツアー」に3名、「リンゴの収穫体験ツアー」に4名参加



中条地区での水田作業体験(農業体験受入事業)



真島地区での桃の収穫体験(「農×食」体験ツアー)

- りんご栽培コースを新設し、本市特産のりんご栽培を担う人材の確保・育成の強化を図る。
- 受講者 6名
- 研修内容 長野県で栽培されているりんごの主要品種の栽培について、基礎から学ぶことができる。実習と講義を組み合わせた研修。



- 農業生産性の向上と経営安定化を図るため、農道や農業用水路などの農業生産基盤の整備を実施
- 農道整備 63箇所 L=1,785m
- 水路整備 142箇所 L=2,109m
- 防災重点農業用ため池の地震耐性評価 9箇所

農業用水路の整備[篠ノ井塩崎]

<施工前>



<施工後>



裏の池[信更町涌池]

<地震耐性評価>

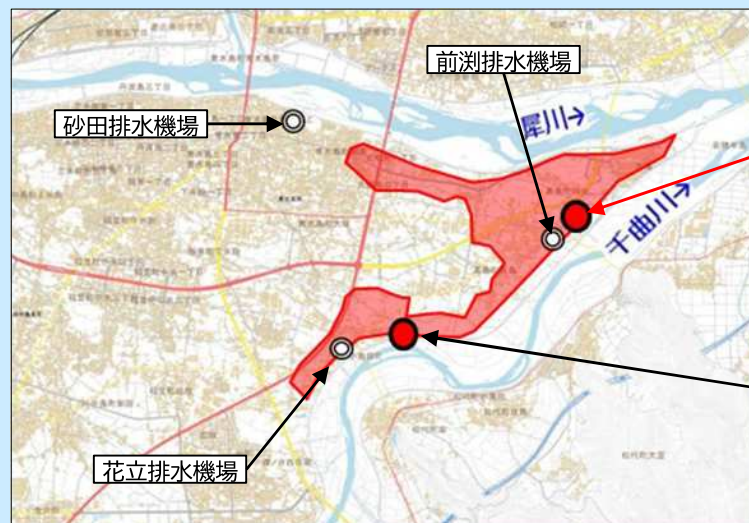


<地質調査実施中>



- 農地や住宅地を大雨等河川の増水による水害から守るために排水機場を管理しているが、建設から年月が経過し老朽化が進んでいる排水機場が多いため、緊急性の高いものから改修・更新を実施
- 県営事業による農村地域防災減災事業 1地区・1排水機場を実施

真島排水機場



真島排水機場(事業中)
排水機場移設更新 N=1箇所
(現況)Q=8.6m³/sec:φ1300×2台(横軸)
(計画)Q=6.0m³/sec:φ1200×2台(立軸)
<更新内容>
ポンプ製作据付工事 1式、吸水槽工事 1式、
上屋建築工事 1式、吐水槽工事 1式

小島田排水機場(次期事業予定)
ポンプ製作据付工事 1式、吸水槽工事 1式、
上屋建築工事 1式、吐水槽工事 1式

<排水能力見直しの経緯>

- ① 昭和50年代:西寺尾1・2排水機場の建設により、当該流域面積が減少
- ② 平成9年:オリンピック開発等の土地利用変化に伴い、国交省が砂田・前淵・花立排水機場を建設
- ③ 現状と課題:周辺の整備が進んだことで、真島・小島田排水機場での排水量が減少。現在の規模・構造では適正な稼働が困難となり、見直しが必要となった。

真島・小島田排水機場	流域面積(ha)
S42.4	2,200
現在	1,165

県営農村地域防災減災事業(湛水防除)



- 農業生産者による農産物宣伝・販売をはじめ、観光、ふるさと納税、特産品、移住などを3市長からのトップセールによりPRするイベントを開催(長野市、松本市、上田市連携事業)
 - 施設内飲食店で3市のりんごを使ったオリジナルメニュー提供も実施
- 【開催日】 令和7年11月22日(土)
- 【開催場所】 サンシャインシティ噴水広場(東京都豊島区) 【売上合計】 約145万円



農産物を活用した長野市及び上田市の魅力発信事業【No.15, 16, 17 果樹振興】農業政策課 14

- 長野市・上田市の農産物(野菜・果物を中心)の質の良さ、おいしさを実感し、両市のファンになってもらうきっかけづくりを行うためのキャンペーンを都内の飲食店で実施
 - 店内外の装飾やPOPなどで魅力の一つである雄大な自然もPR
- 【開催期間】 令和7年8月20日(水)～26日(火)
- 【開催場所】 NICOTAMA DAYS CAFÉ (東京都世田谷区)
- 【販売実績】 川中島白桃のアールグレイスムージー(212食)
2色のとうもろこしの食べ比べマルゲリータ(101食)



- 『豊穡の地を巡る川中島の戦いを超えて、持続可能な未来へ
～川中島白桃と平和、そしてSDGsへの挑戦～』をテーマに出展
- 川中島白桃を「見る」「聞く」「嗅ぐ」「触る」「味わう」という5感をフルに使った体験、
「川中島の戦い」をVR技術で蘇らせ、専用ゴーグルによる唯一無二の没入体験などを提供

【開催期間】 令和7年5月28日（水）～6月1日（月）

【開催場所】 2025年日本国際博覧会会場内EXP0メッセ「WASSE」

【来場者数】 約4万人



- 長野市のりんご栽培面積は、後継者不足による栽培者の高齢化、栽培資材の高騰、気候変動などの影響で減少傾向にある。特に近年、平均気温の上昇により赤色系りんごの着色不良や果肉の先熟化といった課題が顕著化している。これらの課題を掘り下げ、最新の試験研究を基に長野市のりんご栽培の未来について考えるため開催。長野県果樹試験場の研究員による講演に加え、現場に即した意見交換を行うパネルディスカッションを通じ、実践的な知見を深めた。

【開催日時】 令和8年1月23日（金）【来場者数】約180人

【開催場所】 若里市民文化ホール



講演

「りんご着色不良の要因と対策」について
「りんご着色のメカニズムと今後の育種の展望」について



パネルディスカッションの様子

ワインPV「若き醸造家たちの挑戦 ～長野市のぶどう畑からはじまる物語～」制作【No.15, 16, 17果樹振興】

農業政策課 17

- 「長野市産のワインを飲んでみたい」「実際に長野市に来てみたい」「長野市でワイン用ぶどうを栽培してみたい」と思っただけの映像を制作
※約4分の通常版と、1分のダイジェスト版を制作
- 今後、You TubeをはじめとしたSNSを通じた配信のほか、農業だけでなく、移住や観光も含めた市が関係するイベント等での活用を予定



市公式YouTubeで公開中

- 農薬調査等の情報追加による栽培の手引きの更新
- 剪定研究会を開催 参加人数:71名(市内48名 市外23名)
- ヘーゼルナッツ営農苗木補助事業および試験ほ場事業の実施
R7年度 本数:3,151本(苗木補助事業) 決算額:7,460千円
【参考】R6年度 本数:3,597本(苗木補助事業:2,662本、試験ほ場:935本)
決算額:10,709千円

ヘーゼルナッツの栽培について (Ver.2)



長野市産ヘーゼルナッツの実

《 令和8年3月 作成 》

栽培の手引き



剪定研究会

- ワイン用ぶどう産地形成事業を実施し、苗木や資材の購入費用を支援
- 決算額:715千円 申請件数: 5件（苗木483本及び垣根資材）



七代会地区の農場



豊野地区の農場

- 農業資材高騰対策事業
国の重点支援地方交付金を活用
出荷梱包資材、肥料・農薬等の生産資材等に対する補助
決算額：9,984千円 対象者：5,663人
- 農作物災害緊急対策事業（干害応急対策事業）
灌漑ポンプ購入に対する補助
決算額：77千円 申請件数：10件



農業資材高騰対策事業
生産資材（かけ袋）



灌漑応急対策事業 灌漑ポンプ

- 中山間地域を中心に野生鳥獣による農作物の被害が拡大しており、各地区の有害鳥獣対策協議会（委員会）が行う、各種の防除対策に対する支援
- 国庫事業を活用して、鬼無里箆田沖地区では、住民自らが電気柵等を設置（R 7年度1.28km）
- 市町村森林整備推進支援事業を活用した緩衝帯の整備（R 7年度7箇所）

電気柵や防護柵の設置



鳥獣被害防止対策として
鬼無里箆田沖地区で設置した電気柵

3段張り電気柵

緩衝帯の整備



<整備前の状況>

見通しがきかず動物が
隠れやすい環境
[鬼無里地区]



<整備後の状況>

見通しがきき動物が
出没しにくい環境に
[鬼無里地区]

- 令和元年に稼働した長野市ジビエ加工センターでは、捕獲従事者の協力により前年度を上回る数の個体を受入れるとともに、さらなる販路拡大や減容化施設の導入などセンターの運営改善を図るための取組を実施
- 市内小・中学校の学校給食でジビエ料理を提供するとともに、小学校1年生の保護者向けに作成したジビエのパフレットを配布
- 長野県立大学との連携事業によるシカ肉の油脂の機能性の研究やジビエ料理の開発を行うとともに、アドバイザーを活用した販売促進など、ジビエ等の普及促進に向けた取組を実施



鹿肉のスライス



減容化施設



ジビエ給食(シカ肉のボロネーゼ)



シカカレーナゲット

- 長野市農業公社では、地域ブランド「ながのいのち」で地元産農産物・加工品の販売と消費拡大を図るため、新たな直売所を設置
- 開催場所：TOMATO食品館（もんぜんぱら座1階）
- 開設日：令和7年7月1日～

新たな直売所

旬菜市 in とまと食品館



他の販売促進



R7.9.20・R7.11.22
旬菜市in OYAKI FARM



R7.4.7～6.30
長野電鉄長野駅



R7.5.13～12.9
毎週火曜日
長野銀座にぎわい市

- 長野市在住の青年農業者で構成された長野市農業青年協議会の会員を中心とした生産者4名と長野市地産地消協力店4事業者による商談会を実施
- 生産者は取引先の拡大を目指す農産物を持参し、試食を交えながら事業者にPRを行った
- 生産者、事業者ともに閑散期である2月の希望が最も多かったため、2月に実施
- 次年度以降も開催方法を検討しながら継続開催予定

商談会の様子(R8.2.4)



- 実施したアンケートでは「有意義な機会となった」「また参加したい」といった声が多く寄せられた。
- 事業者からは「1人1人と密に話せてよかった」「生産者との繋がりをもてる貴重な機会なので、参加人数を増やしてほしい」とのご意見を頂いた。

- 市内6か所(小森・松代東条・青池・安庭・戸隠・大岡)に設置の市民農園のうち、市街地から離れた中山間地域に位置する青池・安庭・戸隠市民農園は利用率が低い状況
- 若者の利用促進のため、長野県立大生に協力いただき、実際に市民農園にて畑づくりから野菜の収穫までを体験している様子や施設紹介動画を制作・SNSにて配信(市農業公社、農業政策課)



市公式YouTube



市職員が
畑作りや収穫を
体験する様子を
公開中

農業政策課公式Instagram



市内の学生に
よる市民農園の
紹介はこちら

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市